

様式第 1(第 3 条関係)

※受理年月日	
※受理番号	
※備考	

大規模小売店舗届出書

令和 6 年 9 月 30 日

栃木県知事 殿

氏名又は名称及び法人にあつてはその代表者の氏名
株式会社明成興産
代表取締役 渡邊 正芳
住所
栃木県宇都宮市材木町 5 番 3 号

大規模小売店舗立地法第 5 条第 1 項の規定により、下記のとおり届け出ます。

記

- 大規模小売店舗の名称及び所在地
名 称:(仮称)ツルハドラッグ富野岡店
所在地:栃木県さくら市富野岡字村12番1 他
- 大規模小売店舗において小売業を行う者の氏名又は名称及び住所並びに法人にあつては代表者の氏名
名 称:株式会社ツルハ
代表者氏名:代表取締役 八幡 政浩
住 所:北海道札幌市東区北二十四条東二十丁目 1 番 21 号
主な販売品目:医薬品等
- 大規模小売店舗の新設をする日
令和 7 年 5 月 31 日
- 大規模小売店舗内の店舗面積の合計
1,099 m²

5. 大規模小売店舗の施設の配置に関する事項

(1) 駐車場の位置及び収容台数

駐車場No.	位置	収容台数(台)
駐車場	P.15 図面 4 全体配置図	35
合計		35

※別途、従業員等共用駐車場 15 台を確保いたします。

(2) 駐輪場の位置及び収容台数

駐輪場No.	位置	収容台数(台)
駐輪場	P. 15 図面 4 全体配置図	14
合計		14

(3) 荷さばき施設の位置及び面積

荷さばき施設No.	位置	面積(m ²)
荷さばき施設	P. 15 図面 4 全体配置図	46.4
合計		46.4

(4) 廃棄物等の保管施設の位置及び容量

廃棄物保管施設No.	位置	容量(m ³)
廃棄物保管施設	P. 16 図面 5 内部配置図	5.22
合計		5.22

6. 大規模小売店舗の施設の運営方法に関する事項

(1) 大規模小売店舗において小売業を行う者の開店時刻及び閉店時刻

小売業者	開店時刻	閉店時刻
株式会社ツルハ	24 時間	

(2) 来客が駐車場を利用することができる時間帯

利用することができる時間帯
24 時間

(3) 駐車場の自動車の出入口の数及び位置

出入口の数	位置
2 箇所	P. 15 図面 4 全体配置図

(4) 荷さばき施設において荷さばきを行うことができる時間帯

午前 6 時 00 分～午後 10 時 00 分

添付書類(目次)

□:図面以外の文書等(主として表形式)

◇:図面

I 店舗の概要に関する書類

(1)届出概要等

①□届出概要	P. 1
②□大規模小売店舗を設置する者が配慮すべき事項	P. 2
③◇店舗位置図	P.12
④◇都市計画図	P.13
⑤◇周辺見取図	P.14
⑥◇全体配置図	P.15
⑦◇内部配置図	P.16
⑧◇立面図	P.17
(2)◇求積図及び求積表	P.18
(3)□面積表	P.18
(4)◇荷さばき施設の位置及び求積図並びに求積表	P.15
(5)◇廃棄物保管施設の位置及び求積図並びに求積表	P.15,16
(6)□周辺位置図及び周辺の写真	P.19

II 交通関係(添付書類)

(1)◇駐車場の位置	P.15
(2)◇店舗までの案内経路図	添 P.22
(3)◇店舗敷地内及び駐車場出入口周辺通行経路図	添 P.23
(4)□方向別来台数算出根拠	添 P.5.6
(5)◇方向別来台数予測図	添 P.23
(6)□現状交通量調査結果	添 P. 7
(7)□現状と開店後における交通量等の比較	添 P.8～10
(8)◇駐輪場位置図	P.15
(9)□右折出庫による交通容量の検討	添 P.19～21

III 騒音関係(添付資料)

(1)◇騒音予測・対策に関する図面	添 P.19
(2)□荷さばき施設等における商品搬出入車の来台数及び荷さばきを行う時間帯	P.3
(3)□騒音予測結果表	P.6
(4)□騒音予測調査資料	添 P.7～14

IV 関係各課等との協議結果

V 登記簿謄本

届 出 概 要(新設)

I 届出の概要

1 届出者等

届出者	名称・代表者	株式会社明成興産 代表取締役 渡邊 正芳
	住所	栃木県宇都宮市材木町5番3号
届出区分		新設(法第5条第1項)
届出日		令和6年9月30日
新設日		令和7年5月31日
店舗名称		(仮称)ツルハドラッグ富野岡店
店舗所在地		栃木県さくら市富野岡字村12番1 他
小売業者の氏名又は名称及び住所		株式会社ツルハ 代表取締役 八幡 政浩 北海道札幌市東区北二十四条東二十丁目1番21号

2 届出事項の概要

届出事項		届出の内容
店舗面積合計		1,099㎡
施設配置	駐車台数	35台(別途、従業員駐車場15台)
	駐輪台数	14台
	荷さばき施設面積	46.4㎡
	廃棄物保管場所容量	5.22㎡
運営方法	開店時刻	24時間
	閉店時刻	
	来客駐車場利用時間帯	24時間
	駐車場出入口	2箇所
	荷さばき可能時間帯	午前6時00分～午後10時00分

3 出店地・建物の概要

届出事項		内 容
出店地の状況	用途地域	無指定地域、第一種住居地域
	敷地面積	3,790㎡
	所有形態	自己所有
建物の状況	店舗業態	ドラッグストア
	延べ床面積	1,223.16㎡
	併設施設の面積	-
	併設施設面積の店舗面積に対する割合	-

大規模小売店舗において小売業を行う者の一覧

No.	小売業者名及び代表者名	住所	主な販売品目	開店時刻	閉店時刻	面積	備考
1	株式会社ツルハ 代表取締役:八幡 政浩	北海道札幌市東区北二十四条東二十丁目1番21号	医薬品等	24時間		1,099㎡	
合計						1,099㎡	

II 指針に定める大規模小売店舗の施設の配置及び運営方法に関する配慮事項への対応状況

1 駐車場の充足等交通に係る事項

(1) 駐車場の必要台数の確保

届出駐車台数 35 台(別途、敷地内従業員用 15 台)

指針による必要駐車台数 35 台

◇ 指針による算出根拠

店舗面積	1.099 千㎡
店舗業態	ドラッグストア
人口	10 万人未満
用途地域	その他地区
駅からの距離	1800m

計算式

項目	届出台数	指針値	算出根拠
必要駐車台数	35 台	35 台	$A \times \alpha \times S \times B \times C \div D \times E$
S:店舗面積(千㎡)		1.099	$1,099 \text{ m}^2 \div 1000$
A: 日來客原単位(人/千㎡)		1067.03	人口 40 万人未満の場合 $1100 - 30 \times S$ (S < 5 の場合の式)
α : 補正係数		1	
B: ピーク率(%)		14.40	指針の基準値
C: 自動車分担率(%)		90	人口 10 万人以下且つその他地区の場合 駅からの距離に関わらず 90
D: 平均乗車人員(人/台)		1.5	店舗面積 5,000 ㎡未満の基準値
E: 平均駐車時間係数		0.343	店舗面積 20,000 ㎡未満の場合 $(30 + 5.5 \times S) / 105$

(2) 駐車場の位置及び構造等

項目	対応策
効率的な駐車場形式の選択及び出入口の数、位置	<ul style="list-style-type: none"> スムーズな入庫ができるよう平面駐車場といたします。 店舗の影響により周辺交通に影響が生じた場合には、関係機関と協議の上、適切な対策を検討いたします。
駐車待ちスペースの確保	<ul style="list-style-type: none"> 駐車場内の車路部分全般が駐車待ちスペースの役割を果たしており、入庫待ちによる公道の渋滞が発生しないように運用してまいります。
駐車場の分散確保	<ul style="list-style-type: none"> 駐車場の分散計画はございません。
駐車場出入口における交通整理	<ul style="list-style-type: none"> オープン期、繁忙日等混雑が予想されるときには、駐車場各出入口に交通整理員を適宜配置いたします。

(3) 駐輪場の確保等

届出駐輪台数 14 台

(位置は P.15 図面 4 全体配置図のとおり。)

(4) 自動二輪車の駐車場の確保

自動二輪駐輪場はありませんが、自動二輪車で来店された方は駐車場へ誘導いたします。

(5) 荷さばき施設の整備等

項目	対応策
荷さばき車両駐車スペース、荷さばき作業場所の確保	<ul style="list-style-type: none"> 十分な荷さばきスペースを確保いたします。 処理能力は表1のとおりとします。
搬出入車両出入口の位置	<ul style="list-style-type: none"> 来客用出入口と併用いたします。
計画的な搬出入	<ul style="list-style-type: none"> 騒音問題を考慮し、夜間時間帯での荷さばきは行いません。 計画的な搬入計画により、荷さばき待ち車両が路上待機することで、周辺交通を阻害することがないようにいたします。 搬出入計画は表2のとおりとします。 廃棄物等の収集についても、荷さばき作業同様に計画的に行います。収集計画は表2のとおりとします。

【表1】

位置	荷さばき時間帯	搬出入車両台数/日 <ピーク時>	駐車スペース	荷さばき処理時間	処理能力
荷さばき施設	午前6時～ 午後10時	9台/日 <3台/6,7,8時台>	4t:1台	4t:20分/台	4t:3台/h

【表2】時間帯別車種別荷さばき計画

荷さばき施設

時間帯	4t	計	廃棄物等	時間帯	4t	計	廃棄物等
6:00～7:00	3	3		14:00～15:00			
7:00～8:00	3	3		15:00～16:00			
8:00～9:00	3	3		16:00～17:00			
9:00～10:00			1	17:00～18:00			
10:00～11:00				18:00～19:00			
11:00～12:00				19:00～20:00			
12:00～13:00				20:00～21:00			
13:00～14:00				21:00～22:00			
				合計	9台	9台	1台

(6) 経路の設定等

事項	対策	
来退店経路の設定、交通整理員の配置	<ul style="list-style-type: none"> 店舗周辺道路に与える影響が少ないと考えられる自動車経路を選定し、チラシ等により来客への周知を行います。 オープン時等繁忙期には駐車場出入口に交通整理員を適宜配置します。 	
生活道路等への配慮	<ul style="list-style-type: none"> 主要な県道及び市道より来店・退店する経路を誘導します。 	
入出庫対策	<ul style="list-style-type: none"> 出入口付近に案内看板を設置し、路面に誘導を表示します。 	
その他	搬出入車両の経路設定等	<ul style="list-style-type: none"> 主要な県道及び市道より来店・退店する経路を誘導します。
	バス、タクシー駐車場の確保	<ul style="list-style-type: none"> 敷地内にバス・タクシーの停留所を設置する予定はありません。
	交通事故防止対策	<ul style="list-style-type: none"> オープン期、繁忙日等混雑が予想されるときには、駐車場各出入口に交通整理員を適宜配置いたします。 駐車場出入口に一時停止の路面標示、案内看板を設置します。

(7)主要交差点の交差点飽和度

① 予測結果(信号交差点)

a.休日

交差点番号	ピーク時間帯	交差点需要率		
		開発前 a	開発後 b	差引 b-a
交差点 A	11 時台	0.497	0.501	0.004

b.平日

交差点番号	ピーク時間帯	交差点需要率		
		開発前 a	開発後 b	差引 b-a
交差点 A	17 時台	0.627	0.631	0.004

休平日のいずれの交差点においても、開発後の交差点飽和度が、通常渋滞が発生しないとされる 0.9 を下回っており、本開発による周辺環境への影響は少ないと推測いたします。

2 歩行者の通行の利便の確保等

事 項	対 応 策
店舗出入口、敷地内通路の位置	駐車場出入口に一時停止の路面標示の設置をします。
荷さばき施設の位置	歩行者動線とは離隔をとった場所に設置します。
夜間歩行者への配慮	照明設備を適切に配置します。

3 騒音の発生に係る事項

(1) 騒音問題に対応するための対応策

事 項	対 応 策
一般的対策	
騒音源の配置	・周辺環境に配慮した配置とします。
遮音壁の設置	・遮音壁の設置は計画しておりません。
低騒音機器の選択	・可能な限り低騒音型機器を導入いたします。
緩衝帯の設置	・緩衝帯の計画はございません。
営業活動に伴う騒音対策	
荷さばき作業	<ul style="list-style-type: none"> ・夜間荷さばきは実施しません。 ・荷さばき作業時は、アイドリングストップに努めます。 ・衝撃音の発生抑止に努め、台車に搭載した荷物は搬入車両から速やかに室内に移動します。
営業宣伝活動	・BGMは店舗内のみとし、屋外放送はいたしません。
付帯設備等	
冷却塔、室外機等	<ul style="list-style-type: none"> ・冷却塔は設置しません。 ・室外機等は、低騒音装置を選定します。定期点検を行い、異常騒音の発生防止に努めます。
給排気口等	・給排気口は低騒音型を選定し、住居から十分離れた位置に設置します。
駐車場	
配置・構造	・段差のない構造とします。
運営	<ul style="list-style-type: none"> ・駐車場利用者に対して、看板等によりアイドリングストップを周知します。 ・従業員の出勤、帰宅時における騒音発生防止を徹底します。
廃棄物収集作業等	<ul style="list-style-type: none"> ・作業員の静穏意識の向上に努めて参ります。 ・早朝、夜間の時間帯の作業は行いません。
営業時間外の敷地内侵入者防止対策	・24時間営業のため、従業員による駐車場内の適宜巡回を行います。

(2) 騒音の予測評価

① 用途地域時間区分の指定状況

用途地域	昼間	夜間
無指定地域 第一種住居地域	6:00～22:00	22:00～6:00

② 騒音の総合的予測結果 (単位: dB)

種別	地域 類型	環境基準 (LAeq)	予測地点のデータ			
			予測地点 (m)	等価騒音 レベル (LAeq)	主音源 (音源名称) (LAeq)	
昼間	C	60	A(1.2)	57.4	空調機室外機02 52.6	
	C	60	B(1.2)	44.8	排気口12 35.9	
	C	60	C(1.2)	50.0	廃棄物収集作業01 42.9	
夜間	C	50	A(1.2)	57.4	空調機室外機02 52.6	
	C	50	B(1.2)	42.3	排気口12 35.9	
	C	50	C(1.2)	45.0	来客車両走行009 41.7	

③ 夜間に発生する騒音ごとの予測結果 (単位: dB)

時間区分	区域	騒音 規制法 基準値	予測地点でのデータ			
			予測地点 (m)	騒音 レベル 最大値 (LAmax)	音源	継続 時間 (台数)
夜間	第三種区域	50	P1(1.2)	55.1	来客車両走行003	470台
	第三種区域	50	P2(0.5)	50.6	来客車両走行003	470台
	第三種区域	50	P3(1.3)	56.1	空調機室外機02	22:00-06:00
	第三種区域	50	P4(4.2)	46.2	来客車両走行009	470台
	第三種区域	50	P5(1.4)	49.9	来客車両走行009	470台
	第三種区域	50	P6(1.2)	62.1	来客車両走行008	470台
	第三種区域	50	P1'(1.2)	52.4	来客車両走行003	470台
	第三種区域	50	P2'(0.5)	49.4	来客車両走行003	470台
	第三種区域	50	P3'(1.3)	52.6	空調機室外機02	22:00-06:00
	第三種区域	50	P6''(1.2)	41.8	来客車両走行009	470台

④ 評価

イ 騒音の総合的予測結果

全ての予測地点において昼間の等価騒音レベルは環境基準値を下回ります。

予測地点 B・C において夜間の等価騒音レベルは環境基準値を下回ります。予測地点 A においては、環境基準値を上回りますが、店舗の駐車場が隣接しており、住居が立地していない状況です。今後住居が立地する際には、速やかに騒音対策を検討します。

静穏に努めて運用してまいります。近隣住民の方々より騒音に関するご意見等頂いた場合には、誠意を持って対応いたします。

ロ 夜間に発生する騒音ごとの予測結果

予測地点 P4・P5 において、夜間騒音レベルの最大値は規制基準値を下回りますが、予測地点 P1～P3・P6 においては、夜間騒音レベルの最大値は規制基準値を上回ります。

そこで、隣地敷地境界において予測地点 P1'～P3'を、直近住居外壁において予測地点 P6''をそれぞれ設定したところ、予測地点 P2'において、夜間騒音レベルの最大値は規制基準値を下回りますが、予測地点 P1'・P3'においては、夜間騒音レベルの最大値は規制基準値を上回ります。

そこで、直近住居外壁において予測地点 P6''を設定したところ、予測地点 P6''において騒音レベルの最大値は規制基準を下回ります。

静穏に努めて運用してまいります。近隣住民の方々より騒音に関するご意見等頂いた場合には、誠意を持って対応いたします。

4 廃棄物に係る事項等

(1) 廃棄物等の保管について

① 保管のための施設容量の確保

廃棄物保管施設の容量 届出容量 5.22 m³

指針による必要容量 5.14 m³

◇指針による必要保管容量積算根拠 [S:店舗面積 1.099 千m²]

廃棄物種別	S:店舗面積		A:1日当たり 廃棄物排出量 指針原単位×S	B: 平均保 管日数	C: 見かけ比 重(t/m ³)	排出 予測量 A×B÷C
	6000 m ² 以下	1.099 千m ²				
紙製廃棄物等 (再資源可能なものに限る)	6000 m ² 以下	1.099 千m ²	0.229t	1.00 日	0.10	2.29 m ³
	6000 m ² 超					
			計 0.229t			
金属製廃棄物 (アルミ製・スチール製の容器等)	6000 m ² 以下	1.099 千m ²	0.008t	1.00 日	0.10	0.08 m ³
	6000 m ² 超					
			計 0.008t			
ガラス製廃棄物 (ガラス製の容器)	6000 m ² 以下	1.099 千m ²	0.007t	1.00 日	0.10	0.07 m ³
	6000 m ² 超					
			計 0.007t			
プラスチック製廃棄物 (食料容器、食料品トレイ等)	6000 m ² 以下	1.099 千m ²	0.022t	1.00 日	0.01	2.20 m ³
	6000 m ² 超					
			計 0.022t			
生ごみ等 (食品廃棄物等)	6000 m ² 以下	1.099 千m ²	0.186t	1.00 日	0.55	0.34 m ³
	6000 m ² 超					
			計 0.186t			
その他の 可燃性廃棄物等	6000 m ² 以下	1.099 千m ²	0.059t	1.00 日	0.38	0.16 m ³
	6000 m ² 超					
			計 0.059t			
					合計	5.14 m ³

② 廃棄物等の保管場所の位置及び構造等

事項	対応策
位置、構造	<ul style="list-style-type: none"> ・周辺に臭気を飛散させないよう建物内部で廃棄物の種類毎に分別保管を行います。 ・廃棄物収集運搬車への積み込み場所は、周辺への騒音、臭気の影響を軽減するよう、住居から離れた場所とします。
生ごみ対策	<ul style="list-style-type: none"> ・生ごみは少量である為、従業員が退店時に保管庫へ保存し、毎朝廃棄物収集業者が回収します。

(2) 廃棄物等の処理について

事 項	対 応 策
敷地外処理	<ul style="list-style-type: none"> ・ 専門業者に運搬及び処理を委託して適正処理を行います。 ・ 売場、バックヤードのゴミ箱から廃棄物等が溢れ出て散乱することのないよう、清掃係員が巡回し、確認の上必要に応じて廃棄物保管施設に移動します。
運搬予定業者	<ul style="list-style-type: none"> ・ 専門業者に運搬及び処理業者への引渡しを依頼します。
敷地内処理	<ul style="list-style-type: none"> ・ 廃棄物の種類毎に分別保管を行います。
関係者への指示	<ul style="list-style-type: none"> ・ 店舗関係者及び廃棄物の収集運搬業者に適正処理の指導を徹底します。

(3) 廃棄物減量化及びリサイクルについての配慮

事 項	対 応 策
廃棄物の減量化、リサイクル活動	<ul style="list-style-type: none"> ・ 分別の徹底によるごみの減量化に努め、廃棄物発生抑制に努めます。 ・ ダンボールとビニール等のリサイクルを実施します。

5 街並みづくり等への配慮

災害時の協力	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地方公共団体からの要請があった場合、可能な限り協力いたします。
夜間の防犯、青少年の非行防止対策	<ol style="list-style-type: none"> 1 駐車場における対策 <ul style="list-style-type: none"> ・ 従業員による駐車場内の適宜巡回を行います。 2 店舗内部における対策 <ul style="list-style-type: none"> ・ 防犯カメラ等の防犯機器の設置、従業員による店内の適宜巡回を行います。 3 防犯体制全般 <ul style="list-style-type: none"> ・ アルバイトを含めた全従業員に対し、防犯を意識した心構えと習慣を指導し、防犯意識の向上を図ります。 4 青少年の健全育成 <ul style="list-style-type: none"> ・ 栃木県青少年健全育成条例に対し、深夜徘徊等無いよう従業員による駐車場内の巡回を行います。
街並みづくり等への配慮	
景観条例等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 栃木県屋外広告物条例
建物の色	<ul style="list-style-type: none"> ・ 周囲の街並みと調和がとれた色とします。
建物の高さ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 規定の範囲内とします。
看板	<ul style="list-style-type: none"> ・ 条例に適合した大きさとします。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広告物等についても、周囲の街並みと調和がとれた外観とします。
敷地内の緑化計画	<ul style="list-style-type: none"> ・ 敷地境界に可能な範囲で緑地を設置し、緑化と管理に努めます。
照明に関する配慮	
方向	<ul style="list-style-type: none"> ・ 照明光が周辺の住居内に射し込まない角度とします。
強さ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 強度の照明は使用せず、安全確保に必要な程度の明るさとします。
時間	<ul style="list-style-type: none"> ・ 営業時間が 24 時間のため、防犯上 24 時間点灯いたします。

6 地域貢献への対応

項目	対応策
地域経済団体等の活動への積極的な協力	・地域からの優先的な雇用を促進します。 ・地域イベント等の参加や協力等要望があれば検討します。
地域の防災・防犯への対応	地域防災及び地域防犯活動へ協力に努めます。
退店時における早期の情報提供	退店時は可能な限り早期情報提供を行います。
その他	周辺住民等から苦情、問い合わせがあった場合は、誠意をもって対応いたします。

7 その他特記事項

店舗に関する運営方法について周辺住民等から苦情、問い合わせ等あった場合は、誠意を持って対応いたします。

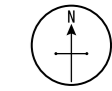
面積表

単位:㎡

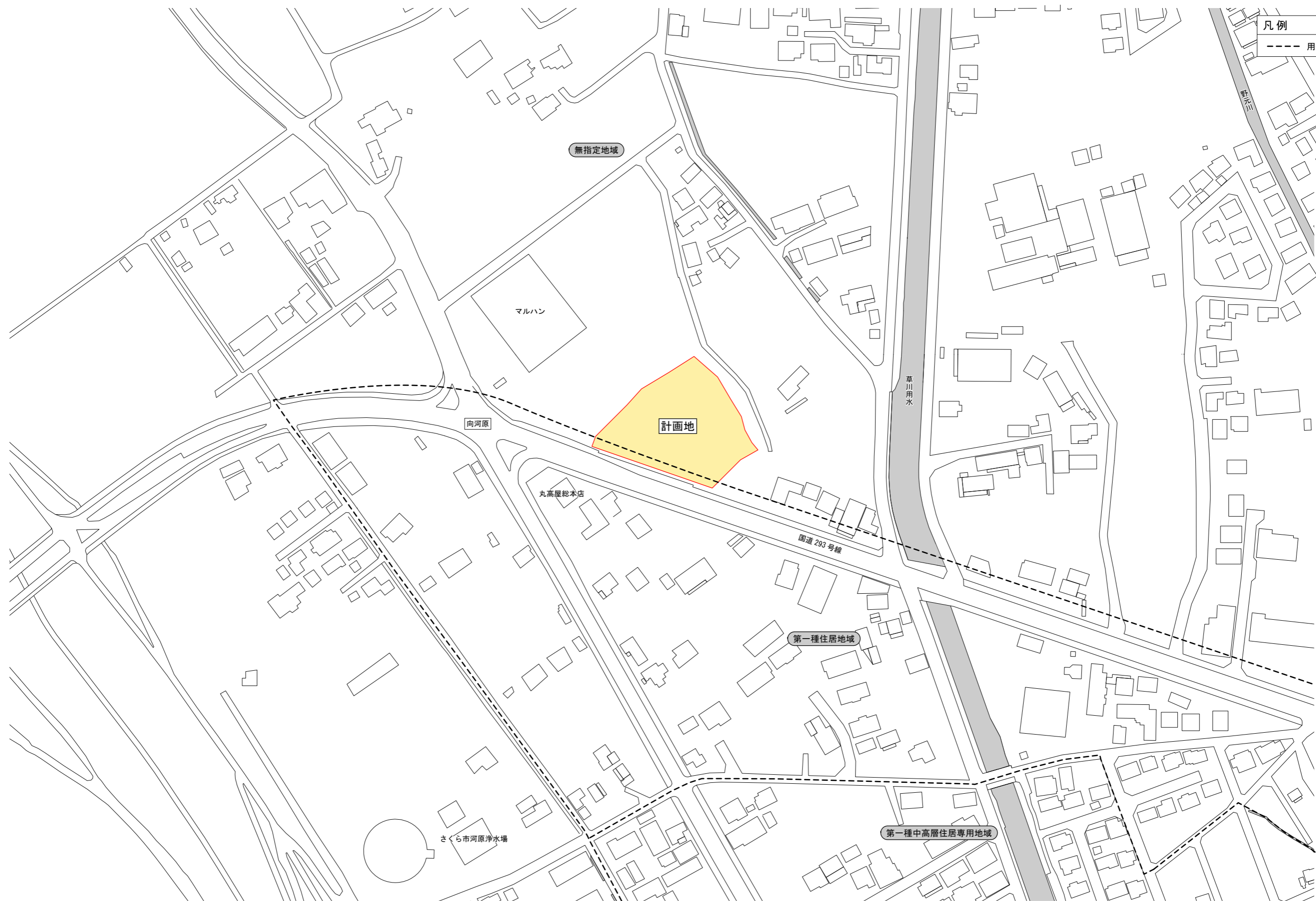
項目		店舗	合計	備考	
店舗面積	小売面積	1,099	1,099		
	小計	1,099	1,099		
	a 延床面積不算入面積	—	—		
	A 店舗面積の合計	1,099	1,099		
事業用	利用者 同一	サービス施設	—	—	
		小計	—	—	
	利用者 別	—	—	—	
		小計	—	—	
	B 事業用合計		124	124	
C 施設		—	—		
延床面積(A-a+B+C)		1,223	1,223		







凡例
--- 用途地域境界



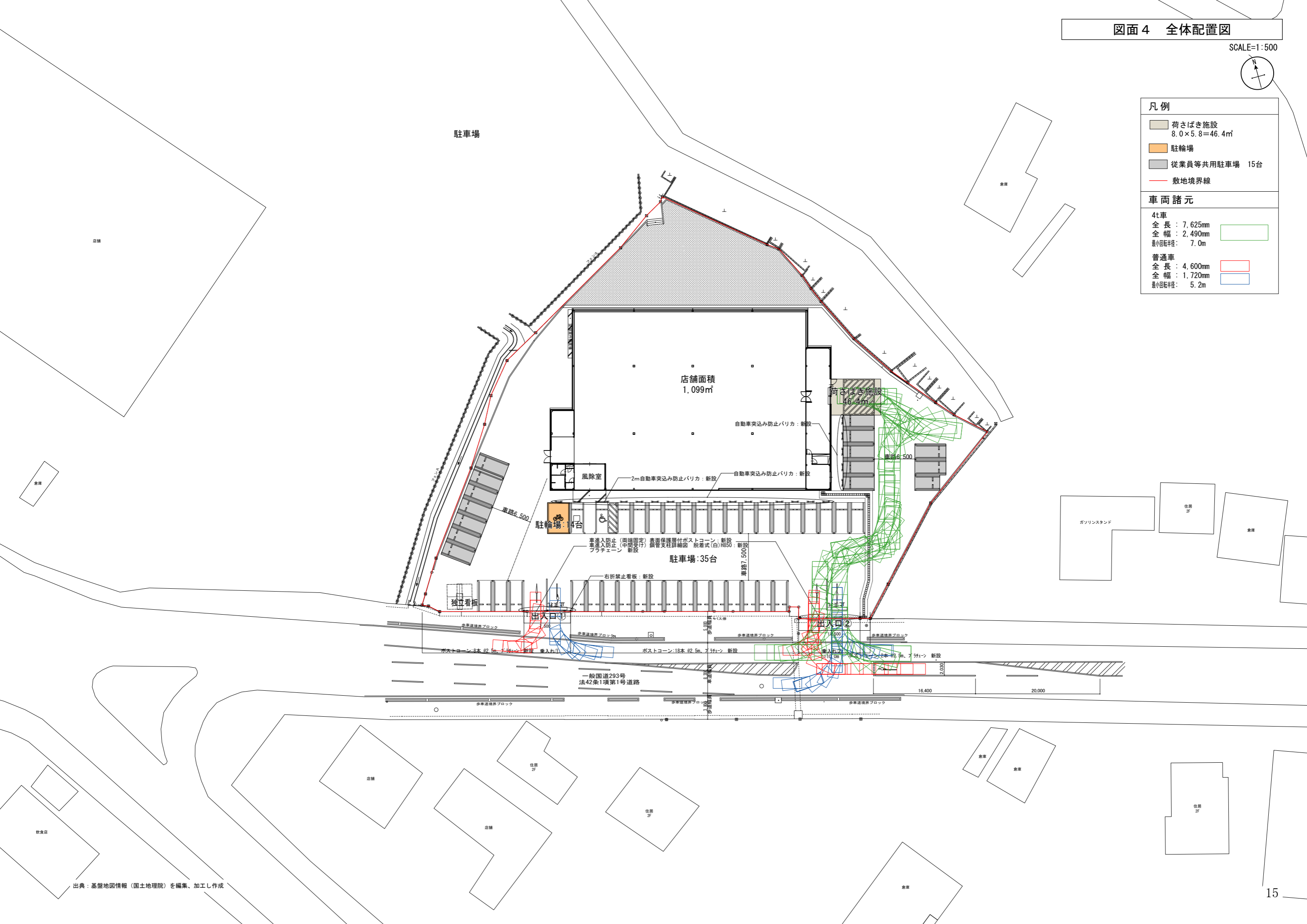


凡例

- 荷さばき施設
8.0×5.8=46.4㎡
- 駐輪場
- 従業員等共用駐車場 15台
- 敷地境界線

車両諸元

- 4t車
全長：7,625mm
- 全幅：2,490mm
- 最小回転半径：7.0m
- 普通車
全長：4,600mm
- 全幅：1,720mm
- 最小回転半径：5.2m



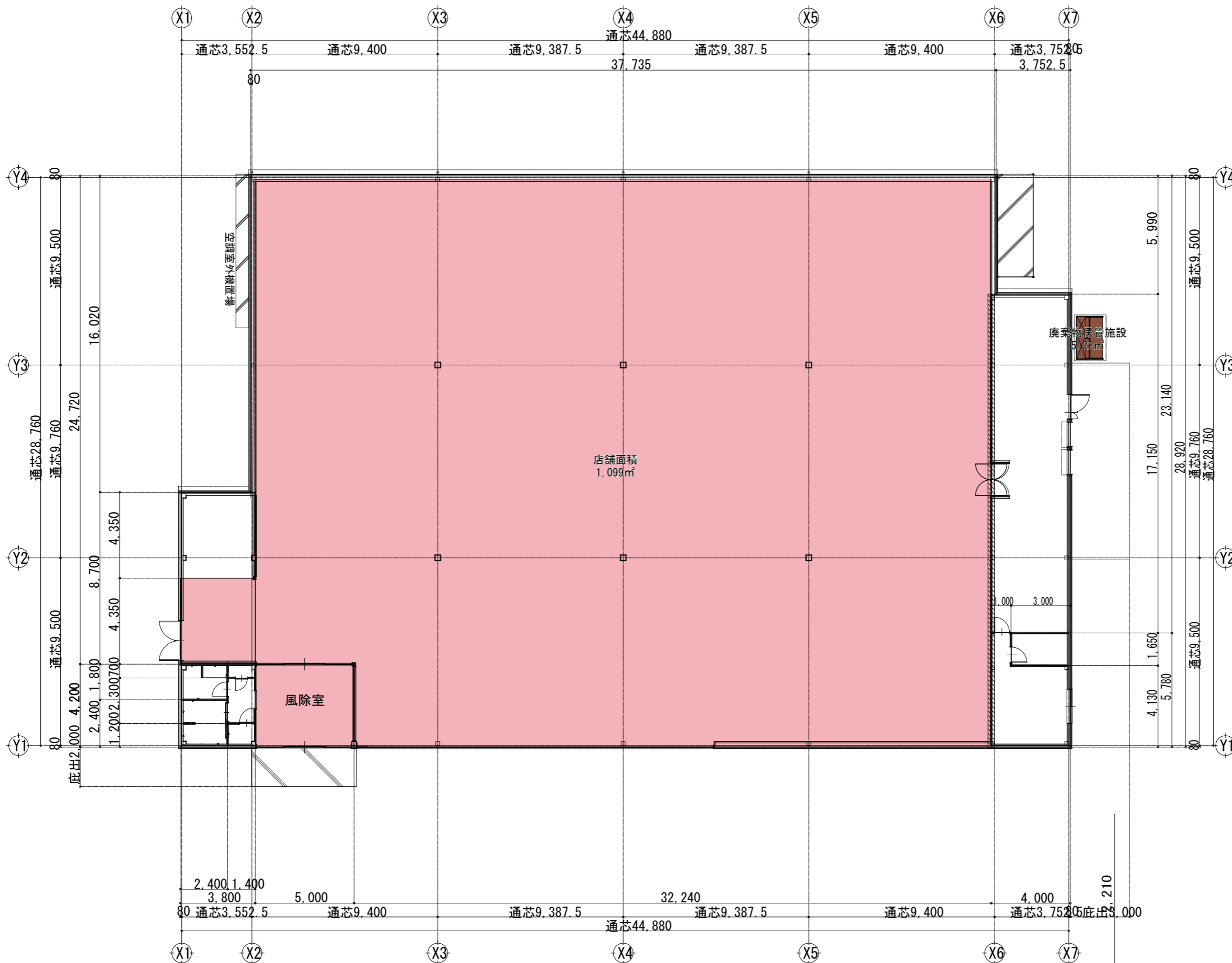
図面5 内部配置図

SCALE=1:200

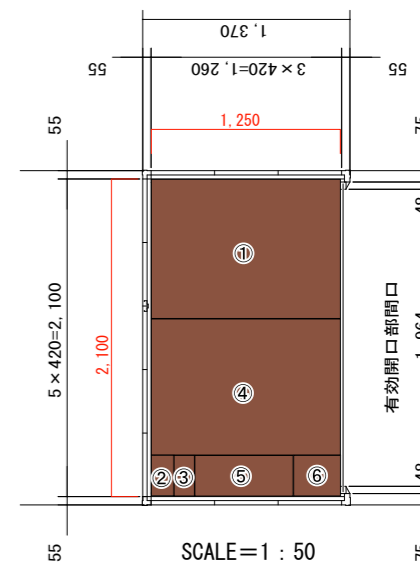


凡例

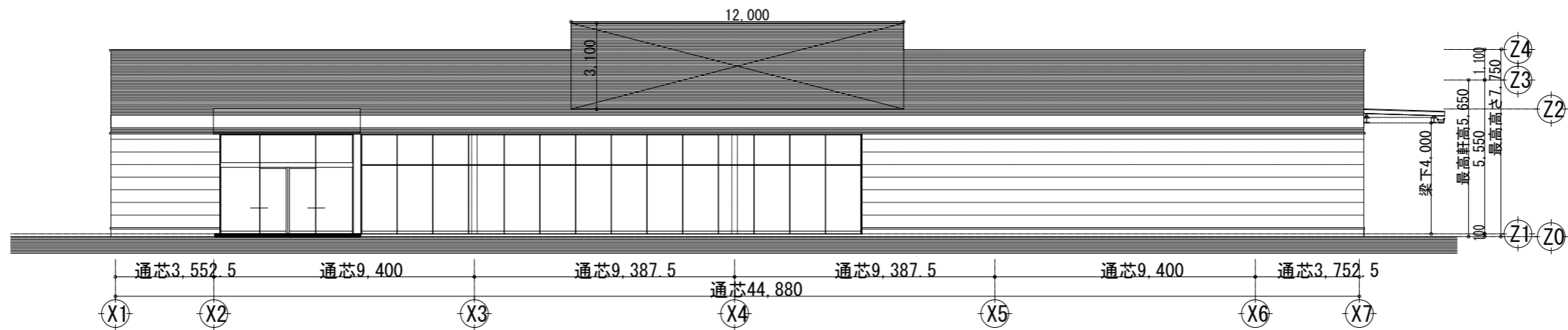
- 物販店舗
- 廃棄物保管施設



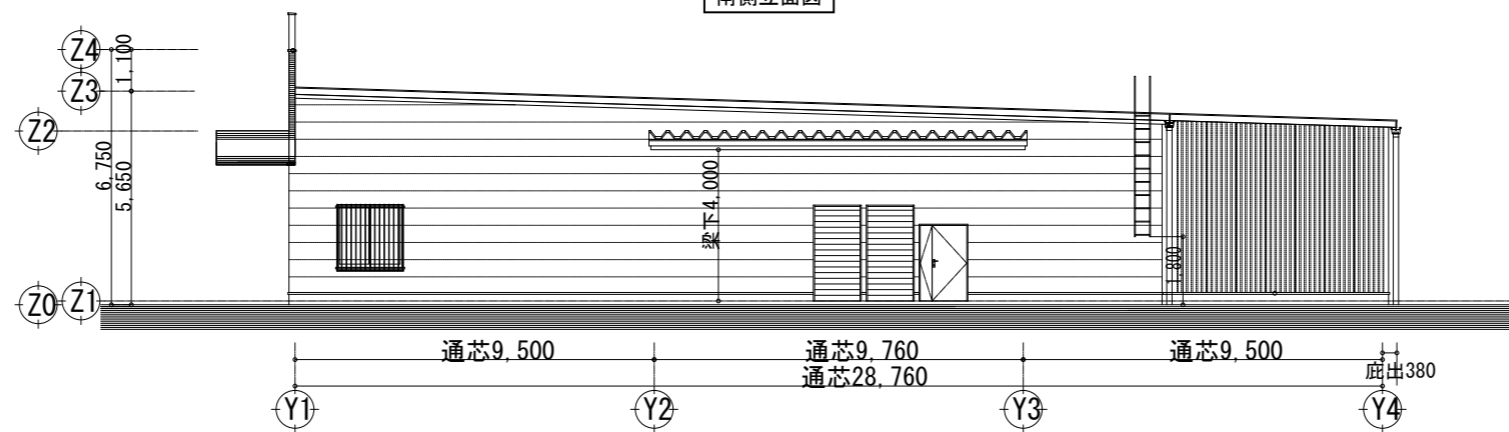
【廃棄物保管施設】



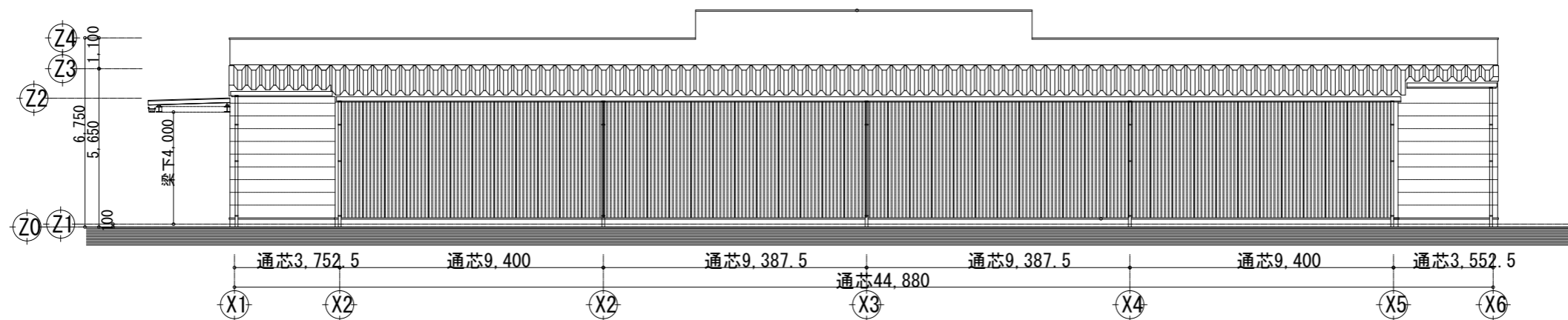
- ①紙製廃棄物
W1.25 × L0.92 × H2.00 = 2.3000㎡
- ②金属製廃棄物
W0.268 × L0.15 × H2.00 = 0.0804㎡
- ③ガラス製廃棄物
W0.268 × L0.135 × H2.00 = 0.0724㎡
- ④プラスチック製廃棄物
W1.25 × L0.90 × H2.00 = 2.2500㎡
- ⑤生ごみ等
W0.268 × L0.65 × H2.00 = 0.3484㎡
- ⑥その他可燃性廃棄物
W0.268 × L0.31 × H2.00 = 0.1662㎡
- 計 5.2174 ㎡
(5.22 ㎡)



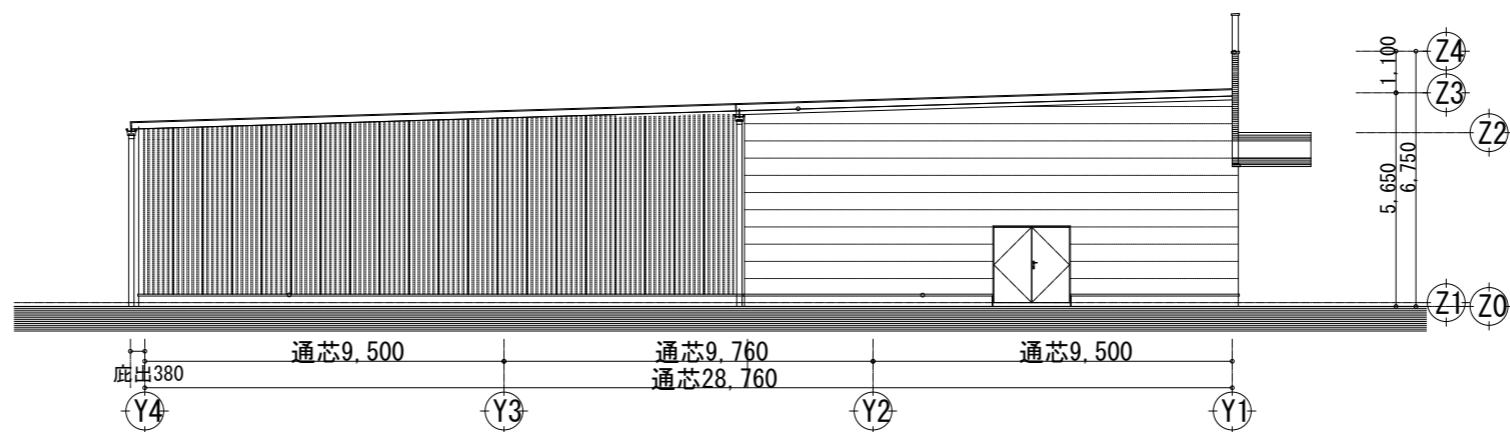
南側立面図



東側立面図



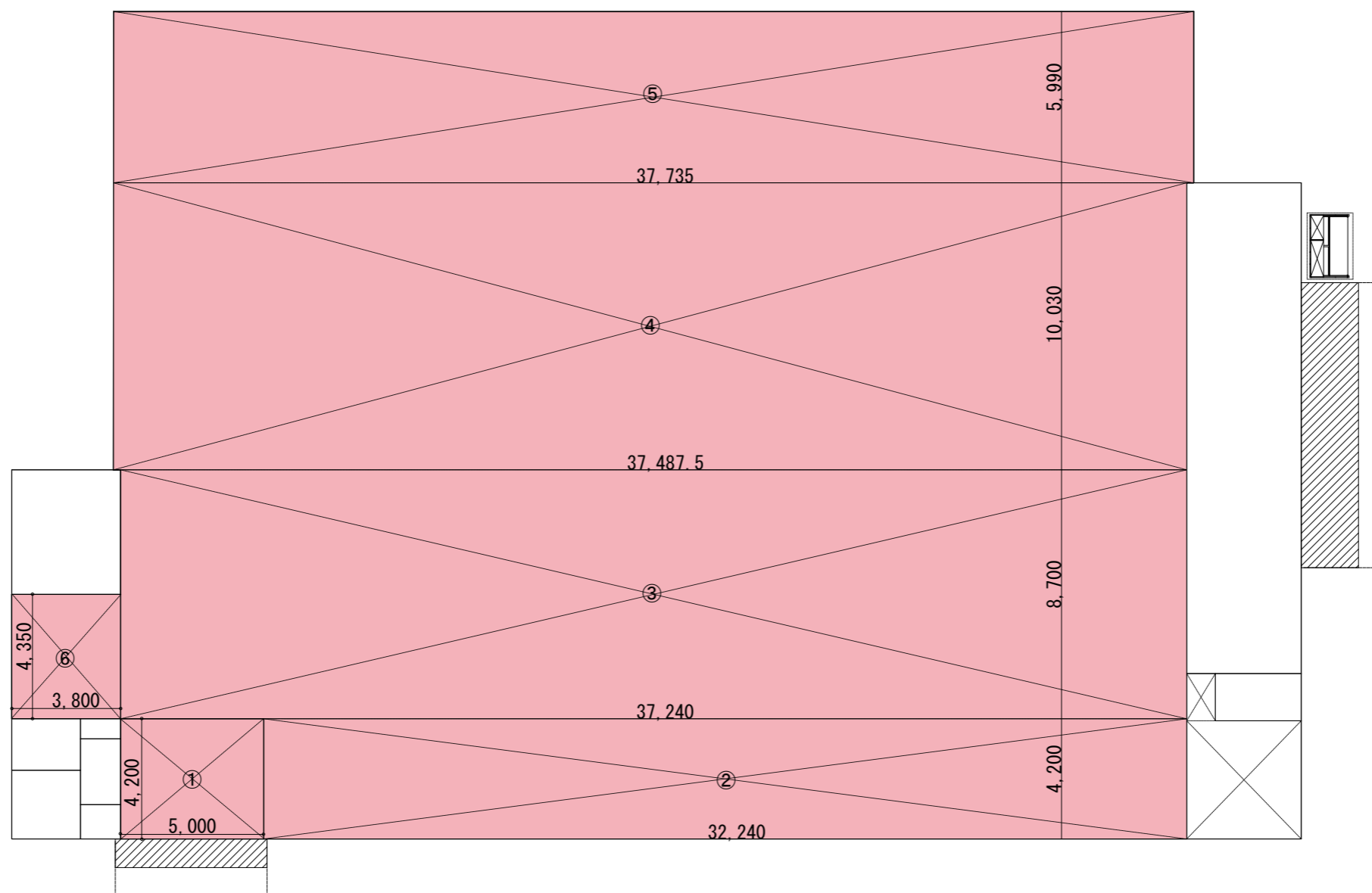
北側立面図



西側立面図



凡例	
	物販店舗



各諸室求積表

記号	室名	計算式	計
①	風除室	5*4.2= 21.0000	21.0000
②	売場	32.24*4.2= 135.4080	
③		37.24*8.7= 323.9880	
④		37.4875*10.03= 375.9996	
⑤		37.735*5.99= 226.0327	1,061.4283
⑥	待合スペース	3.8*4.35= 16.5300	16.5300
合計			10,989.583

店舗面積
1,099㎡

